

JET からの手紙

黒板と竹：ハタチの ALT 日本の農村体験記

愛媛県立西条農業高等学校 外国語指導助手

Zosia (Sophia) East (ゾシャ (ソフィア) イースト)

観光客から教師へ

大学時代に貯金をして、2023年夏、家族とともに日本を訪れました。別府の温泉、京都のお寺、そして東京の活気などの日本の文化、そして日本人の清潔さと礼儀正しさは、今までに経験したことのないものでした。すっかり日本に魅了された私は、また、日本に戻りたい！と強く思いました。

帰国後、日本の生活をより身近に体験する方法を探し始め、「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を見つけました。絶対に応募しなければ！と強く感じ、すぐに応募しました。

2024年4月に合格通知を受け、愛媛県西条市に配属されることになり、とても興奮しました。愛媛県は訪れたことがなく、ほとんど何も知りませんでした。東京より西に位置し、おそらく東京より暖かい場所だと思い、安心しました。

しかし、西条農業高校に配属されることに不安がありました。都会で育った私は、農業の経験がなく、農業高校と一般の高校の違いも分かりませんでした。英語の授業では、「トラクター」「作物」「灌漑」といった専門用語に焦点をあてるのか、授業は屋外で行われるのか、何より生徒と教師の英語のレベルがどの程度なのか…。分からないことがたくさんありました。

愛媛へようこそ

愛媛県の松山空港に到着すると、「愛媛へようこそ」という大きなポスターと、西条農業高校の天野麻紀子先生が大きく手を振って笑顔で迎えてくれました。時差ぼけとスーツ姿で汗かくでしたが、これから始まる冒険にワクワクしていました。西条市に到着し、道沿いに広がる田んぼを見ると、私は、新しいアクティビティに挑戦



田んぼに囲まれた学校へ続く道

し、英語文化を共有し、国際的に学校環境に貢献できると確信しました。

私は、西条農業高校に着任した最初のフルタイム ALT（外国語指導助手）でした（以前の二人は月に1度しか学校に来ていませんでした）。新しいデスクと生徒たちの笑顔が出迎えてくれました。生徒たちは、好奇心旺盛で、英語力を高めるためのアイデアを熱心に求めていました。英語の先生方や職員の方のサポートを受けながら、活動のアイデアを出し合い、西条での生活に徐々に慣れていきました。

想像と違い農業高校では、農業の専門英語ではなく、普通科と同じ英語の教科書を使用していることに驚きました。先生方は、授業を進める際に、生徒の実態に合わせて、ワークシートやプレゼンテーションを自作して



8月の暑い日差しの下、田んぼの草取りをする学生たちを手伝う。大変な作業だが、笑顔が絶えない

いました。2学期が始まる前、環境工学科の成高先生に誘われ、生徒たちと一緒に千町棚田の草取りをしました。棚田とは、山の斜面に階段状に造られた水田で、日本の伝統的な田舎の風景です。その壮大な風景に感動しました。炎天下での大変な作業の後は、竹林に行き、竹を切り倒してお皿を作り、猪肉のバーベキューを楽しみました。猪肉はとてもおいしかったです！

数日後、相原克也教頭先生に誘われ、生徒たちと桜餅を作りました。秋になると稲刈りも体験しました。収穫後は、稲を束ね乾燥させます。伝統的な稲作の体験は私にとって忘れられないものとなりました。

文化交流の促進

私の勤務する高校には、「食農科学科」「環境工学科」「生活デザイン科」の3つの学科があります。英語などの主要科目に加え、それぞれの学科で専門の授業が行われています。

最初の1カ月は、主に英語科の先生方の行動をよく見たり、サポートをしたりしながら、授業の様子を観察しました。慣れてくると、英語でのウォームアップや、インタラクティブなゲームを提案しました。しりとり、スキットコリズ、ジェパディー、間違い探し、へびとはしご、ビンゴなどが生徒に人気です。

私は時間をかけて、文化交流を促進しながら、学校のコミュニティに溶け込んでいきました。「なまはげ」の授業中にハンガリーの「なまはげ」によく似た「ブショー」という祭りを紹介しました。また、イングリッシュボードを作り、ハロウィン、イースターなどのホリデイをテ



春をテーマにした英語掲示板一季節の言葉、写真、インタラクティブなアクティビティが満載



3年生と甘いカスタードとチョコレートのロールケーキを作っている様子

マにした授業を行いました。教材として、英語のお菓子やシールを使用しました。始めは恥ずかしがっていた生徒たちでしたが、これらのアクティビティを通して、外国の文化に興味を持つようになり、授業中に質問することも増えました。

永続的な影響を与える

私が今まで出会った生徒たちには、さまざまな理由で退学してしまった生徒たちもいました。

それでも、毎日出勤し、廊下で生徒たちに挨拶をし、彼らの笑顔を見るのが楽しみです。教科書に基づいた学習を楽しくインタラクティブなものにすることは、日本の厳格な教育システムの中では難しくもありますが、同時に楽しくもあり、これからも諦めずに挑戦していきたいと思います。

授業以外でも、コースター作りやパンを焼く実習、鍋の代わりとして竹を使用してカレーライスを作る環境保護活動などを通して、生徒たちと国際交流をしています。また、進学を目指す生徒や、英語力を向上させたい生徒たちに、英検対策や就職のサポートができることは、ネイティブスピーカーとしてサポートする機会となり、とても感謝しています。

学校初のフルタイム ALT として、さまざまな不安や困難を乗り越え、生徒たちに変化をもたらしていると実感しています。英語の授業だけではなく、異なる背景、文化、外見を持つ人々と交流する機会を提供することで、生徒たちに貢献できていると自負しています。教室の黒板から、新鮮なエネルギーを生徒たちに与えられるようこれからも努力していきます。

プロフィール



Zosia (Sophia) East

ゾシャ (ソフィア) イースト

英国、イングランド、サウサンプトン 出身。JET プログラムへ応募した理由は、日本の文化に魅了され、生徒たちに国際関係についてよりオープンな視野を持ってもらいたいと思ったからです。将来は、このプログラムで得た人脉や経験を生かして、英国と日本の国際協力を促進していきたいです。